

7月27日(水)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

特別協賛: **TOSHIBA**
Leading Innovation >>>

ほぼ

日刊サマ-ミュージカ

Hobo Nikkan Summer Muza



シェフ上岡の巧妙な演出が光る快演!

7月25日(月)新日本フィルハーモニー交響楽団「シェフ上岡敏之のスペイン・ラブソディー」 撮影：青柳聡

真 夏の音楽祭「フェスタサマ-ミュージカ KAWASAKI 2016」の第3日目となる7/25は、上岡敏之&新日本フィルによるスペイン・ラブソディーのプログラム。魅惑の地スペインに魅了された作曲家たちの作品の数々が演奏された。

1曲目はシャブリエの狂詩曲「スペイン」。マラゲーニャとホタを組み入れた情熱的なラブソディーのエネルギッシュな熱演に客席からはブラヴォーの声が。2曲目はビゼーの「アルルの女」第1組曲。この南欧を舞台にした

ドーデの戯曲のための音楽でも、雰囲気豊かな好演を展開。次いでリムスキー=コルサコフが既刊の「スペイン民謡集」を素材に書きあげた「スペイン奇想曲」。シェフ上岡は見事な統率力と巧みなメリハリ、強烈な表出力で、R=コルサコフの色彩的なオーケストレーションを再現。輝きに満ちた色彩豊かで鮮烈な音が会場内に響き渡った。

休憩を挿んでラヴェルの人気曲2曲を演奏。始めに「スペイン狂詩曲」。物憂い情感の表出も情景描写も秀逸で、ラヴェルの

多彩な色彩美と緻密なニュアンスを描出。ラストは「ボレロ」。シェフ上岡の巧妙な演出が光る快演で、テンポ設定もうまく、ソリストたちの技術も優秀。単純なリズムとエキゾチックなメロディーの繰り返しとその持続、刻々と変化する音色と響き、精緻で華麗な音の絵巻のなかに、いつしか客席も巻き込まれ…。そしてアンコールの「ファランドール」(「アルルの女」第2組曲より)で熱っぽく締め括り、客席を大いに沸かせた!

横堀朱美(音楽評論家)



開場時には室内楽コンサートもお楽しみいただきました。

7/25 新日本フィルハーモニー交響楽団

お客様の声から♪

すばらしいスペイン旅行ができた。もう夏休み旅行しなくていい(30歳・会社員・ベル) / 新時代が来たのを確信しました…最高!(50歳・会社員・川崎のYoko) / 外はまだ真夏の暑さというわけではありませんが、会場内にはアンダルシアの熱い風が吹き荒れていました。(会社員・ぜぶら) / 新日本はととても久し振りに聴きました。若い演奏者がとても良いですね。プログラムも音と若さに溢れてい夏のコンサートにぴったりでした。(64歳・団体役員・tomotomo) / とても情感豊かな演奏でした。指揮者の情熱が団員に乗り移っているように思いました。室内楽コンサートもとても丹精でよかったです。(60歳・会社員・Yokko) / ラヴェルのボレロを聴けて良かったです。(41歳・用務員・パセリ) / 上岡さんの音楽にはおもわず聴き入ってしまう不思議な力があると思う。大好きなアルルの女を上岡シェフ × 新日本フィルで聴けてとてもハッピーでした♡(30歳・IT・Sakura)

NEXT!! フェスタサマ-ミュージカ

明日はどう聴く? 20代応援団がナビゲート!



ボブ佐久間

ポップスオケの本場といえばやっぱりアメリカ! ボストンポップスに限らず、どこのオケも夏季はクラシック以外の音楽も演奏するのが常です。読響によるポップスオケはレコードで発売されていたこともありましたが近年は稀なよう。でも、これぞ待望の企画と快哉を叫びたい! なぜなら近年の読響はシャープで明るい響きでとにかく上手く、いま日本で最も米国のオーケストラサウンドに近いのですから。日本のポップスオケの新たな日の出となる公演になるかも!?

(小室敬幸 作曲/音楽学)

7月28日(木) 15:00 開演
読売日本交響楽団

フルオーケストラが奏でる
懐かしのジャズ&シャンソン

指揮・編曲: ボブ佐久間、萩田光雄
スペシャルゲスト /
指揮・ピアノ・編曲: 前田憲男
ギター: 斉藤明子

若手演奏家支援事業 2016 「ミニコンサート」



7/25 (月)
「アルナイル・カルテット」
の皆さん



今後の予定 7/29 (金) 「みーとりお (サクソ、フルート、ピアノ)」
7/30 (土) 「アンサンブル・クノスペ (木管五重奏)」
8/9 (火) 「アンサンブル・カンナ (ファゴット四重奏)」
8/10 (水) 「アリオス・サクソフォン・カルテット
(サクソフォン四重奏)」
いずれも 11:30 開場、12:10 開演。会場：市民交流室 (120 名先着順)

サマーミュージカ期間中、大ホールでのコンサートのほかに、毎年恒例となっている「ミニコンサート」。

若手演奏家への活動の場を提供することを目的に「若手演奏家支援事業」として公募しております。年々応募者が増え、今年も62組の中から選ばれた6組の演奏家がステージに登場します。すでに常連となられているお客様から夏休み中のお子さんを連れのお母さま、お昼休みを有効活用されている会社員の方など、さまざまなお客様がお昼のひとときをすごしていらっしゃいます。

若い演奏家が成長していく姿を聴衆として見守っていたくことも大きな励みとなります。是非お気に入りの演奏家を見つけて応援していただければと思います。

事業課 や

新商品のご紹介



ご要望にお応えして、ミュージカオリジナルのトートバッグができました！
ホール 1 階ショップにて好評発売中！
(小 600 円・大 900 円)

暑い夏にはサイダーが飲みたい！

伊豆大島伝統海塩とシチリアレモンのこだわりサイダー。まろやかな塩とレモンの酸味が絶妙です。

サマーミュージカ期間限定、ホール 2 階ドリンクコーナーにて販売中。(400 円)



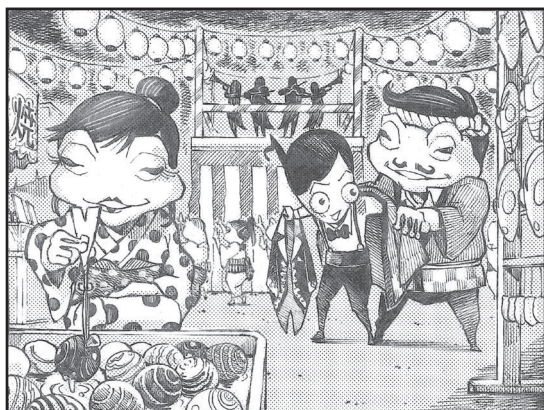
コンサート ゴアズへの道

The Road to becoming a Concertgoer

第4回 サマーミュージカは カジュアルでも OK !

画：井上孝志
文：ミュージカスタッフ

クラシックってやっぱりちゃんとした服じゃないといけないの？——いえいえ、サマーミュージカは真夏の音楽祭。汗だくになってドレスアップする必要はありませんのでご安心ください。カジュアルな“お出かけ”スタイルもOKです。逆にホールは思っているよりも空調が効いているので、真夏でも一枚羽織れるものを。また、帽子は後ろの席の方の鑑賞の妨げになることもありますから、ホール内では外すようにしてくださいね。



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

つけ麺
麺家 徳

アトレ川崎B1階・パートナーショップP.16

サマーミュージカ特典 チケット提示で
味付け玉子1個サービス
※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

JR川崎駅前のアトレ川崎には、ラーメン店が軒を連ねる、「ラーメンシンフォニー」(B1フロア)があります。今日は、この一角にあるお店「麺家 徳(とく)」で魚介つけ麺(820円)を注文しました。とんこつと魚介のコラボレーションによるつけダレに、コシのある太麺は美味。チケットを持参すると、味付け玉子1個がサービスでついてきます。麺の量は、並350g~メガ盛1,000gまで用意され、大変お得!コ

ンサート前後に、涼しくお食事をしたい方にもこのつけ麺はおすすめです(筆者は汗をかかずに快適にお食事ができましたよ)。

事業課 ふ



友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージカ期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージカオリジナルチケットホルダーをプレゼント!
(~8月11日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪
詳しくは友の会入会窓口(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現在会員の方に “最響の水”が当たる!

サマーミュージカ公演のチケットを事前にご購入の友の会会員様、各公演抽選で20名様に“最響の水”をプレゼント!
(当選者の座席番号を当日ロビーに掲示いたします。)

当日の感動をすぐお届け!!



バックナンバーは
ミュージカホームページでも公開中!
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

広報営業課 ざ

スタ
タ
ッ
フ
日
誌